

広報 **えりも**

Public Relations Erimo

10

月号 2026
No.1055

2年ぶりに復活
担ぎ手の力、町に活気



9月12日 住吉神社秋季例大祭神輿渡御



笛舞小学校 「再会の堂」開堂式

笛舞小学校では、卒業時に思い出の品を瓶などに詰め、敷地内の「再会の堂」に納め、10年後に卒業生が集まって品を取り出す開堂式を行ってきました。笛舞小学校は今年度で閉校となることから、今後、開堂式を行うことが難しくなるため、8月22日、第118回から第128回までの卒業生に案内し、開堂式を開催しました。卒業生や当時の担任などが集まり、思い出の品を手に昔話に花を咲かせ、懐かしい仲間との再会を喜び合う温かな時間となりました。



観光客の消費拡大へ 学生が調査・提案

8月3日から25日まで、千葉大学の学生が地域おこし協力隊インターン生として、当町の観光客の消費拡大をテーマに活動しました。お盆期間には、襟裳岬・風の館や百人浜オートキャンプ場などで観光客を対象にアンケートを実施し、98件の回答から食事や土産物、宿泊、観光情報などのニーズを分析。8月24日の成果発表会では、調査結果をもとに、テイクアウト商品の販売や観光パンフレットの充実、宿泊促進など、町の観光振興につながる提案を行いました。



管内7町をつなぐ 日高コスミック祭り

8月29日、新冠町の判官館森林公園キャンプ場で、日高管内7町初の音楽交流イベント日高コスミック祭りが開かれ、約1000人が来場しました。「香水」のヒットで知られる歌手・瑛人さんら道内外の14組による音楽ライブのほか、7町の魅力や特産品などを紹介するブースが会場に並び、えりも町も出店。特産品やグッズの販売、昆布のつかみ取りなどを行い、会場は道内外から訪れた人たちでにぎわいました。



ミニ消防士に変身！ 放水に挑戦

8月31日、日高東部消防組合えりも支署で、幼年消防クラブの放水体験が行われました。町内の保育所と光の園幼稚園から園児24人が参加。園児たちは消火服とヘルメットを身に着け、ミニ消防士に変身。消防職員の指導を受けながら、2人1組でホースを持って放水しました。見事に火点標識を倒すと、うれしそうな笑顔を見せていました。このほか、消防車や救急車への乗車体験も行われ、消防の仕事や火災予防について楽しく学びました。



新しい地域おこし協力隊 が着任

9月1日、役場で地域おこし協力隊の委嘱状交付式が行われ、山口耕さん(39歳)が新たな隊員として着任しました。大阪府からえりも町へ来た山口さんは、メーカー勤務や海外での生活、障がい者福祉の仕事などを経験。自然が好きで、海外ではダイビングツアーなどを企画し、メキシコではシャチと泳いだ経験もあります。4年ほど前から北海道をたびたび訪れ、コンブポートクルーズも体験してきました。これまでの経験を生かし、コンブポートクルーズを中心に、えりもの観光振興に取り組みます。



百人浜フィールド学習 えり高生が枝落とし体験

9月9日、えりも高校の1年生26人が百人浜フィールド学習を行いました。生徒たちは日高振興局林務課の説明やDVD視聴を通して林業について学び、百人浜では中学1年生のときに自分たちが植樹した木を観察した後、約30年前に植樹されたクロマツの枝落としを体験しました。生徒代表の神田琉之介さんは「枝落としを終えると強い達成感と爽快感に包まれた。今回の経験を生かし、自然や環境への負担を減らすことを心掛けた」と話しました。



来て！見て！知ろう！ ゼニガタアザラシ学習観察会

9月12日、襟裳岬・風の館で、日高振興局主催のゼニガタアザラシ学習観察会が開催され、日高管内の親子17人が参加しました。郷土資料館と環境省えりも自然保護官事務所職員から、アザラシの生態や漁業被害対策について講演を受け、参加者は絶滅の危機を乗り越え個体数が増加した一方、漁業との間に課題が生じていることを知り、人とアザラシの共存について考えました。講演後は展望室からアザラシを観察し、その姿を見つけると歓声が上がっていました。



JICA研修員 緑化事業を学ぶ

9月14日、世界各国から来日しているJICA(国際協力機構)の研修員14人が、えりも岬林業総合センターで、えりも町の緑化事業について学びました。研修では、日高南部森林管理署から、えりも岬の緑化事業の取組について説明を受けた後、森林と産業の関係や緑化事業の効果などについて意見交換を行いました。大西町長やひだか南森林組合、えりも漁協の関係者も参加し、研修員からは多くの質問が寄せられるなど、交流が深まりました。

行政報告

9月16日、17日に開かれた
定例町議会で、町長と教育長
が行った行政報告を要約して
掲載します。

一般行政報告

札幌えりも会との交流

えりも町出身の方々を中心として昭和63年に結成された札幌えりも会（後藤隆会長）の総会が6月20日、札幌市内のホテルで開催されました。総会では、役員改選が行われ後藤会長の留任や、恒例となつています「海と山の幸フェスティバル」に合わせてふるさと訪問することなどが決定されました。また、総会終了後に開催された懇親会には町内から駆け付けた各団体の代表者ら14人と会員45人、総勢59人が参加し、交流を深めてまいりました。札幌えりも会は来年、節目の40周年を迎えます。今後も連携を密にしながら、町からの情報発信などの事業に取り組んでまいります。

水道基本料金の免除

長引く物価高騰の影響を受けている町民の皆様や事業者の方の経済的負担を軽減するため、町独自の支援策として、水道基本料金の免除を行っております。免除対象期間は、本年8月検針分使用料から10月検針分使用料までの3か月間で、免除に対する申込手続きを不要とし、水道料金の請求金額から基本料金相当額を差し引く方法で実施しております。なお、町の水道施設を利用されていない方につきましては、水道基本料金相当額を指定された口座に振り込む方法により、経済的負担の軽減を図っております。

教育行政報告

―学校教育―

全国学力・学習状況調査の結果

(1)学力状況
本年4月23日（英語は4月22日・5月19日に分野ごとに実施）に実施された全国調査の結果が8月3日に道教委から公表されました。当町の小学校の状況は、昨年度、算数は全

災害時における協定

令和8年8月18日、宗教法人迦葉院（えりも岬）と「災害時における一時避難所の使用に関する協定」を締結しました。この協定は、災害が発生、または発生のおそれがある場合において、地域住民等が一時的に避難できる場所として宗教法人が所有する施設を活用するものであり、避難場所の確保および地域の防災力の向上を図ることを目的としています。今後も民間事業者等との連携を強化し、避難体制の充実を図るとともに、町民の生命と安全を守るための防災対策に取り組んでまいります。

乳幼児用おむつ購入補助事業

昨今の原油価格の高騰等に伴い、原油由来製品をはじめとする生活必需品の価格が上昇し、子育て世帯における育児費用の負担も増加しております。中でも、おむつは乳幼児にとって欠かすことのできない生活必需品であり、特にこの時期は、使用量や購入頻度が多く、家計への負担が大きい時期であります。このため「乳幼児用おむつ購入補助事業」を実施し、おむつの購入に係る経済的負担の軽減を目的に、継続的におむつを使用する0歳から2歳までの乳

幼児を対象として、購入費用の一部を支援することといたしました。補助額は、0歳児が月額2,000円、1歳児が月額1,500円、2歳児が月額1,000円とし、10月から偶数月ごとに2か月分をまとめて支給いたします。本事業を通じて、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを推進してまいります。

緑化事業

えりも岬の緑を守る会主催の第42回「えりもワクワク森林づくり体験事業植樹祭」が、5月26日に庶野曙地区の旧肉牛牧場内を会場に開催されました。当日は、えりも漁協女性部や町内の全小学校から参加した児童をはじめ、来賓の北海道森林管理局宇野局長、活動支援をいただいております一般財団法人セブン・イレブン記念財団関係者など町内外合わせて228人の参加により、ミズナラ160本とオオヤマザクラ14本の苗木を植樹いたしました。今後も関係機関と連携し、緑化活動の歴史と大切さを次の世代へ引き継ぎ、より豊かな森林づくりを推進してまいります。

第51回えりもの灯台まつり

「第51回えりもの灯台まつり」を、8月14日から16日の3日間で開催いたしました。3日間通して好天に恵まれ、延べ1万6,000人の皆様にまつりを楽しんでいただきました。14日は、えりも小学校の鼓笛隊パレードに始まり、えりもダンスサークルE・Heartsのストリートダンス、えりも高校軽音楽部のバンドライブが披露され、メインイベントの歌謡ショーでは演歌歌手の香西かおりさんとKING & KINGのモノマネショーを目当てに多くの来場者がありました。15日は、えりも中学校吹奏楽部と町民吹奏楽団の演奏会、小町会による創作舞踊、郷土芸能のえりも駒踊りや襟裳神楽が披露され、恒例の花火大会で終了しました。最終日の16日は、漁協女性部主催の灯ろう流しが行われ、すべての日程を無事に終了することができました。

また、会場では、町内の青年団体や企業などが出店し、まつりを盛り上げていただきました。後援や協賛をいただいた関係団体や各企業をはじめ、町民各位に心から感謝を申し上げます。

員会が連携を図り進めてまいりたいと考えております。

いじめ調査結果

今年度の本調査は6月に実施されました。調査結果では「4月から今まで嫌な思いをしたことがある」という項目に対し、小学校40人、中学校2人、高校1人の回答があり、そのうち「今も嫌な思いをしている」では、小学校18人、中学校2人、高校1人となりました。この回答を含めて、学校で認知した件数は小学校20件、中学校1件、高校0件となりました。主な内容としては「冷やかしゃからかい、悪口、嫌なことを言われる」がもっとも多い状況でした。教育委員会としては、これまで以上に該当する児童生徒や保護者への丁寧な聞き取りと適切な事後指導、その報告を学校に求めるとともに、日常の観察や教育相談、生徒指導交流など、きめ細かな対応と積極的な生徒指導となるよう指導してまいります。なお、11月には2回目の調査を実施する予定です。

中学校部活動等の大会出場

野球では7月18日から開催された全日本少年軟式野球大会北海道大会に、様似・浦河との合同チームで日

高代表として出場しました。1回戦は3対1で、2回戦は1対0で勝利し、準々決勝に進出しましたが、釧路代表チームに0対8で敗れました。

また、サッカーでは、今年度から東部3町の生徒で構成するクラブチーム「HIDAKA EAST SC」が、7月27日から遠軽町で開催された中体連全道大会に出場しましたが、1回戦0対1で惜敗しました。

陸上では、7月26日から旭川市で開催された中体連陸上競技大会全道大会に1年・熊野星那さんが女子100m走と走り幅跳びに出場し、100m走は予選敗退となりましたが、走り幅跳びでは予選9位で決勝に駒を進めました。決勝では、2回目の試技で5m01cmを記録し、予選から大きく順位を上げ、見事6位入賞を果たしました。

吹奏楽では、8月2日に開催された日胆地区吹奏楽コンクールで、昨年度に続き中学生C編成で参加し、見事、銀賞を受賞しました。

今後も生徒がスポーツや文化活動を通して学んだ規律や協調性、他校との交流など、今後の学校生活に生かせることを期待するとともに、引き続き、部活動や地域クラブ活動への支援に努めてまいります。

英語指導助手

新しい英語指導助手として、アメリカ・ミシガン州出身のフィッツウィリアムズ・ザカリーさん（23歳）が着任し、8月21日からの2学期に合わせて、英語の授業に参加しており、明るくフレンドリーな人柄で児童生徒や教職員にも、喜ばれる中で授業に臨んでいます。なお、令和3年10月から英語指導助手を務めているフェルナンデズ・ラッセルさん（31歳）は、JETプログラムにおける5年の任期を終え、8月からは町の会計年度任用職員として採用し、引き続き、小中学校と高校で児童生徒を指導することになりました。今後は、ALT2名体制で外国語教育を一層推進してまいります。

様似町へのスクールバス運行の延伸

今年度、様似町からえりも高校へ入学した生徒は1人で、現在、様似町からの在籍する生徒は1人であります。これまでも、町外からの通学者に対し、JRバスの定期券代金の半額を補助するなどの支援を行っていましたが、通学の利便性を図る支援対策は喫緊の課題でありました。また、以前実施した様似町の生徒と

その保護者に対するアンケート結果からも、通学手段が大きな課題となっていました。そこで教育委員会では、様々な検討・協議を重ね、来年度に向けてスクールバスの運行を様似町まで延伸することとし、7月22日に開催された様似中学校の進路説明会において、来年度からの実施を説明し好感触を得るとともに、先行して2学期から様似町にスクールバスを運行し通学支援を開始したところです。

また、えりも高校の存続対策を検討するため、7月1日には長年、全国募集での成果を上げている北海道鹿追高校への視察をはじめ、7月25日には、教育長と学校長が東京で開催された「地域みらい留学高校進学フェス in 東京」に参加し、全国募集の実施状況を視察しました。これらを踏まえ、本校での全国募集実施の有無について、検討を始めているところです。今後も引き続き、入学者数増加のための施策について、検討してまいりたいと考えております。

社会教育

青少年健全育成事業

社会教育において青少年の健全育成を図るとともに、学校教育と同様に今日の時代に対応する「知、徳、体の調和の取れた教育」を意識した事業を進めております。

(1) スキルアップスクール（知育事業）

小学生に高校生が先生役として学習を支援するスキルアップスクールを7月30日と31日に福祉センターで実施しました。参加した小学生37人は学校で学んだことを振り返り、自らの課題を克服しようと真剣に学んでいました。また、先生役の高校生は12人の申込みがあり、教育委員会としては、高校生による運営や小学生との交流など、高校生の主体的かつ貢献的な姿に大変嬉しく、感謝しています。

(2) 親子盆踊り会（徳育事業）

親子盆踊り会が市街地青少年育成協会の主催で、8月12日と13日の2日間福祉センター駐車場で開催され、帰省中の親子を含め延べ338人の参加がありました。太鼓にあわせて北海盆唄と子ども盆踊りを体験し、参加者にとって思い出に残る夏となりました。

(3) 風の子プール送迎事業とラジオ体操会（体育事業）

風の子プール送迎事業は、普段、本町地区以外の子どもには気軽に利用できないことから、健康な体づくりと保護者による送迎の負担軽減を図るため、開設当初から毎年夏休みに実施しています。本年度は5日間で延べ42人の小学生がスクールバスを利用してプールを楽しみました。

また、夏休みラジオ体操会は、市街地青少年育成協会の主催で福祉センター駐車場を利用して、土日を除く7月23日から31日まで7日間実施しました。保護者や地域住民を含む延べ148人の参加があり、8人の子どもが皆勤賞を受賞しました。

教育委員会では、今後も継続して地域や関係団体等とも連携を図りながら、青少年健全育成事業を進めてまいります。

地域の環境づくり「環境整備事業」

5月に実施しました「明るいまぐくり子ども高齢者花壇整備事業」に続いて、町青年団体連盟が6月16日に、灯台公園沿いの国道とポートサイド小公園に、役員等16人でペゴニア約320株を植栽しました。この作業には、昨年度から引き続き、町

女性団体連絡協議会および町商工会女性部の役員の皆さんなど11人が参加し、地域づくりに貢献しました。また、植栽されていなかった様似側の4つの花壇には、えりも建設協会が企業貢献で花壇整備に参画し、8つのすべての花壇に花が植栽され、えりもの玄関口として、町民や観光客の目を癒すことができました。

スポーツ少年団の全国・全道出場

2つのスポーツ少年団が栄えある全国・全道大会への出場を果たしました。

卓球では、えりも小学校6年・河野楓花さんが7月24日から兵庫県神戸市で開催された全農杯2026年全日本卓球選手権大会ホープスの部に出場し、予選を通過することはできまなかったが健闘しました。また、河野さんは8月7日に室蘭市で開催された第40回全国ホープス北日本ブロック卓球大会にも出場しました。女子個人戦に2回戦から出場し、予選通過とはなりませんでした。女子団体戦では日高町の選手とペアを組み予選リーグを見事1位で通過しました。決勝トーナメントでは決勝まで進み、秋田県の大仙ジュニアに惜しくも敗れたものの、準優勝と

いう素晴らしい結果を残しました。野球では、えりも新栄野球スポーツ少年団が8月8日から札幌市で開催された全道大会に2回戦から出場し、札幌市の北発寒エンジェルスと対戦し、3回戦へ進むことはできませんでしたが健闘しました。

選手の皆さんの健闘を称えらるとともに、今後のさらなる活躍と成長を期待するところです。

郷土資料館講演会

郷土資料館では、日高山脈襟裳十勝国立公園への関心が高まっていることを受けて、改めて地域の自然への理解を深めてもらおうと、郷土資料館講演会「日高とえりもの植物を知ろう」を7月5日に福祉センターで開催し、28人の参加がありました。講演では、町内で自生する襟裳岬のチシマセンブリや日高固有種のヒダカイワザクラについて、調査研究されている専門家2人が講師となり、それぞれの花が持つ魅力をはじめ、これまでの研究成果について分かりやすく解説されました。また、講演に合わせて会場の一角では、町内に自生する植物の写真や自然に関する書籍を展示しました。本講演会では、参加者が地域の豊かな自然を一層、

理解する機会となりました。今後も地域の自然や環境に関する内容を当町の調査・協力に関わる大学等と連携するなどして、工夫した事業を開催してまいります。

部活動の地域展開

近年、急激な少子化が進む中で、中学校の部活動が大きな課題となっています。そのため、中学生が継続的にスポーツや文化活動に親しめるよう、教育委員会では、令和6年度から中学校など学校関係者をはじめ、少年団指導者やスポーツ協会関係者と意見を交わしてまいります。また、東部3町で組織するサッカーのクラブチーム「HIDAKA EAST SC」が4月に発足したことを受けて、町として支援を検討するとともに、本クラブチームを地域クラブとして認定したところとす。今後も、地域の実情に合わせた持続可能な部活動の地域展開が図られるよう、引き続き関係者と協議を重ねてまいります。

受けられる健診



検診項目・料金などの詳細

★がついている検診は、スマッピーポイント各100P 付与

検診項目	対象となる方（町民限定）	受診間隔	料金（自己負担金）
特定健診※1	40～74歳の国保加入者	年1回	0円
基本健診※2	30～39歳の国保加入者 後期高齢者医療保険加入者		
★胃がん検診 （胃部X線検査）	50歳以上※3、75歳未満※5 （69歳以下の方を推奨※4）	2年に1回	1,700円 ▶昭和50年度生まれの方は0円 ▶生活保護の方は800円
★肺がん検診 （胸部X線検査）	40歳以上 （69歳以下の方を推奨※4）	年1回	700円 ▶昭和50・60年度生まれの方は0円 ▶75歳以上・生活保護の方は300円
★大腸がん検診 （便潜血検査）	40歳以上 （69歳以下の方を推奨※4）	年1回	800円 ▶昭和50・60年度生まれの方は0円 ▶75歳以上・生活保護の方は400円
前立腺がん検診 （血液検査）	50歳以上	年1回	1,200円 ▶75歳以上・生活保護の方は600円
ピロリ菌検査 （血液検査）	一度も受けたことがない方、胃薬 の内服・治療をされていない方	生涯1回	1,300円 ▶昭和60年度生まれの方は500円
エキノコックス検査 （血液検査）	5年以内に受けていない方	5年に1回	800円
肝炎ウイルス検査 （血液検査）	無料クーポン券をお持ちの方 （4月に案内発送済み）	生涯1回	0円

- ※1 特定健診の検査項目：
問診、身体計測、血圧測定、採血、尿検査、診察、心電図検査、眼底検査
- ※2 基本健診の検査項目：
問診、身体計測、血圧測定、採血、尿検査、診察、（75歳以上の方：心電図検査）
- ※3 厚生労働省が定める市町村が行うがん検診の指針により、胃がん検診は50歳以上としていますが、当面の間は40歳以上の方も受けることができます。
- ※4 がん検診の安全性、早期発見・早期治療において有効性の高い、69歳以下の方の受診を推奨しています（厚生労働省より）。
- ※5 検診機関より、安全に検査を受けていただくため、75歳以上の方の胃がん検診の受診をお断りすることとなりました。

特定健診受診券について

40～74歳のえりも町国保加入者の方へ、4月中旬に特定健診受診券(1枚)を配布しています。特定健診を受診する際には、この受診券が必要となります。受診券がない場合は、特定健診が受けられませんので大切に保管してください。



健康は
未来への
プレゼント



まだ間に合います! 秋の健診を 受けましょう

特定健診・がん検診の申込受付中です

実施日

11月5日(木)
えりも町保健センター
7:00～10:30(受付時間)
※30分刻みで予約受付

こんな方はぜひ!

病院には通っているけど、健診は受けていない

最近、健診を受けていない

症状はないけど健康状態を確認したい

申込みについて

申込期限

10月22日(木)

完全予約制
です

申込先

保健福祉課健康推進係
☎01466-2-4630

- 昨年、秋の健診を受けた方は、今年度も同様の時間帯で受けることが可能(自動予約)です。8月中旬に案内を送付していますので、確認の上、変更やキャンセルされる場合のみ事前にご連絡ください。
- 自動予約の方を優先に予約を入れさせていただいております。各時間帯に定員があるため、ご希望の時間帯でのご案内ができない場合もあります。早い時間帯をご希望の方は、お早めにお申し込みください。



秋の健診の日程が合わない場合は 町が指定する医療機関等でも特定健診を受けることができます。

健診名等	日程	お申し込み先
漁組健診	令和9年2月頃	えりも漁業協同組合 *漁協組合員限定
町の指定した医療機関での健診	随時	えりも町国保診療所で受ける場合は、役場保健福祉課医療給付係(☎01466-2-4622)へお申し込みください。 それ以外の医療機関(勤医協浦河診療所、広尾町国保病院(※)、クリニックつつみ等)は、直接、医療機関へお申し込みください。

※広尾町国保病院のがんドック(特定健診含む)を受ける場合、特定健診受診券をお持ちの方は約1万円割引となります。

どうみんポイント申請はお済みですか？

6月下旬ごろ、対象となる世帯主の方に、申請に必要な「案内はがき」が送付されています。はがきが届いていない方や紛失された方は、お早めにお問い合わせください。

申請
受付中

ウェブサイト
はこちら ▶



給付対象 令和8年5月1日時点の道内の全世帯主

給付内容 ●どうみんポイント：5,500円相当（アプリ申請）
●JCBギフトカード：5,000円相当（郵送申請）

申請期限 令和8年11月16日（月）

事業者の方へ ポイント取扱店舗への登録は令和8年10月31日まで受け付けています。
事業者専用コールセンター ☎0120-651-745（無休9時～17時）

利用者専用コールセンター
☎0120-842-076
（無休9時～17時）

年末年始のし尿処理受付について

日高清掃社から
のお知らせ

◆年末年始の休業期間

令和8年12月29日（火）～令和9年1月6日（水）
令和9年1月7日（木）より通常営業
ただし土日祝日は休業となります

◆電話受付時間

9時～17時
（時間帯により不在の場合があります）

◆年内分受付終了日

令和8年12月7日（月）

◆予約専用電話番号

☎01466-6-2020

毎年、予約受付終了後に、年内実施の希望をされる方がいます。早めの予約をお願いします。

有限会社日高清掃社 ☎0146-36-5322

低濃度PCB廃棄物の処分期限は 令和9年3月31日です



低濃度PCB廃棄物
早期処理情報サイト

平成5年（1993年）以前に製造された電気機器には、PCBが含まれている可能性があります。

お手持ちの電気機器について、メーカー名・製造年などの表示を確認し、PCBが使用されている疑いのある機器がないか、必ずご確認ください。

PCB使用製品が見つかった場合

日高振興局環境生活課（☎0146-22-9253）へご連絡の上、処分期限までに適正に処理してください。

低濃度PCB助成金をご活用ください

環境省では、低濃度PCB廃棄物の処分期限までの適正処理を促進するため、中小企業（個人事業主を含む）を対象とした「低濃度PCB助成金」を実施しています。分析費や処理費の一部が助成されますので、対象となる方はぜひご活用ください。

※助成金の申請は、分析・処理を実施する前に行ってください。

申請・制度の詳細はこちら



令和9年えりも町二十歳を祝う式典について

祝

「えりも町二十歳を祝う式典」の出席には申し込みが必要です。
出席される方は、申込みフォームよりお申し込みください。



◆日時 令和9年1月10日（日）13時から

◆場所 福祉センター

◆対象者

平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれで、町内に住民票がある方、町外在住であるが当町で式を希望する方

【申込みフォーム】



【申込期限】

12月11日
（金）

【問い合わせ先】

社会教育課社会教育係
☎01466-2-2526

※12月1日以降、申込者には教育委員会から順次ご案内を送付します。
ご案内が届かない場合は、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。
※式典終了後の祝賀会は行いません。

ひなたハロウィン

開催日
10/24 土

イベント時間 9時～12時

受付時間 9時～9時15分
※参加される方は受付時間までにお越しください

対象 小学生以下
※未就学児は保護者同伴をお願いします

参加料 1人100円

イベント内容

- 1 ○×クイズ
- 2 お菓子釣り
- 3 ミステリーボックス
- 4 ビンゴ大会

※町のPRのため動画や写真を撮影させていただきます
※イベント終了後は休館となります

開催場所：交流館ひなた
☎01466-4-7220

仮装してきてね！
ワンポイントだけでもOK★

10月の保健メモ

5日月・30日金

浦河ひがし町診療所巡回診療(要予約)

【時間】 14時～15時

【場所】 保健センター

【予約】 ☎0146-22-7800(浦河ひがし町診療所)

※次回11月11日、25日予定

※日程は変更となる場合があります

13日火 乳幼児健診(個別通知)

【時間】 9時～11時

【場所】 保健センター

※次回2月9日予定

15日木 献血

【時間】 10時～11時30分

13時～16時

【場所】 役場正面玄関ホール

※状況により中止となる場合があります

6日火・20日火 予防接種(要予約)

【種類】

2種混合、麻しん風しん(2期)、日本脳炎(1期・2期・特例)、子宮頸がん

【時間】 15時～16時

【場所】 町立国保診療所

【予約】 母子モによるオンライン予約

※次回11月5日、17日予定

21日水 予防接種(要予約)

【種類】

肺炎球菌、B型肝炎、5種混合、BCG、ロタ、麻しん風しん(1期)、水痘

【時間】 13時50分～14時30分

【場所】 町立国保診療所

【予約】 母子モによるオンライン予約

※次回11月18日予定

21日水 女性がん検診(要予約)

【時間】 8時30分～11時

【場所】 保健センター

28日水・29日木 巡回児童相談(個別通知)

【時間】 28日：13時～17時30分

29日：9時～12時

【場所】 保健センター

11月

5日木 特定健診・がん検診(要予約)

【時間】 7時～10時30分

【場所】 保健センター



◆ 町外で予防接種ができる医療機関

○ 浦河赤十字病院 ☎0146-22-5111

【種類】 小児科へ予約

肺炎球菌、B型肝炎、5種混合、2種混合、ロタ、麻しん風しん、水痘、日本脳炎

【種類】 産婦人科へ予約

子宮頸がん、RSウイルス(母子免疫ワクチン)

◆ 各種助成について

○ おたふくかぜの任意の予防接種は、えりも町国保診療所、浦河赤十字病院で受けることができます。町で半額を助成しています。助成券を発行していますので接種前に役場保健福祉課へお越しください。



妊娠から出産、子育てまでをフルサポート

予防接種などの保健事業や、母子手帳交付の予約はえりも子育てアプリ『母子モ』で受け付けています。

▷ アプリのダウンロード

母子モ

検索



▷ 母子モによるオンライン予約方法

① スマートフォン画面下部(パソコンの場合は上部)に表示されている「地域の子育て情報」をタップ

HOME 地域の子育て情報 産後のみらい

② 画面真ん中に表示されている「えりも町オンライン予約」のバナーをタップ

えりも町 オンライン予約

③ 希望の日時を選択し予約入力

④ 登録されたメールアドレスに「仮予約」のお知らせが届くので、URLをタップして予約を完了

※「仮予約」の段階では、予約になっていませんので必ず「仮予約」のメールを確認してください。

※「予防接種管理」画面からは、予約できません。また、オンライン予約にあたり、予防接種歴や次回の予防接種の登録などの入力作業は不要です。

インフルエンザ予防接種 助成事業のお知らせ

助成期間

令和8年9月1日～

令和9年3月31日まで



1 対象となる方・助成内容

えりも町に住所を有している方で、次の①～④のいずれかに該当する方

① こども	接種当日に生後6か月から高校3年生までの方
② 高齢者	接種当日に65歳以上の方
③ 障がいのある方	接種当日に60～64歳の方で、かつ心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障がい有する方(身体障害者手帳1級相当に該当する方)
④ 生活保護世帯	18歳以上64歳以下で生活保護を受給されている方

※生活保護を受給している方も、対象年齢等に応じて「こども」「高齢者」「障がいのある方」の各区分で助成対象となります。18歳以上64歳以下で、これらの区分に該当しない方は、役場町民生活課で受診票を受け取ってください。



助成額・助成回数

1人につき1回(12歳以下は2回)

接種費用の全額を助成

※フルミスト点鼻薬も助成対象です

対象：2歳～18歳 1人につき助成上限3,000円
(従来の不活化ワクチン相当分)

* えりも町国保診療所・浦河赤十字病院・広尾町国保病院で実施

2 助成方法・予約について

接種までの流れ

① 医療機関へ予約 ▶ ② 予診票を用意 ▶ ③ 医療機関で接種

※町が指定する医療機関は下記のとおりです。予約開始時期はそれぞれ異なりますので、直接、各医療機関へ予約・お問い合わせください。



予診票について

予診票は、役場保健福祉課窓口・指定医療機関に備えています。

3 指定医療機関(予防接種実施医療機関)

えりも町

・えりも町国保診療所 ☎01466-2-2265 ※10月1日から予約開始
・道立庶野診療所 ☎01466-4-2219 ※要相談

浦河町

・浦河赤十字病院 ☎0146-22-5111 ※8月25日から予約開始
・勤医協浦河診療所 ☎0146-22-2501
・藤井内科医院 ☎0146-22-6202
・浦河ひがし町診療所 ☎0146-22-7800
・エマオ診療所 ☎0146-26-7430

様似町

・三和医院 ☎0146-36-3101
※予約不要・10月19日から接種開始

広尾町

・広尾町国保病院 ☎01558-2-3111
・クリニックつつみ ☎01558-2-0223

大樹町

・大庭医院 ☎01558-6-3174
・森クリニック ☎01558-6-5811
・大樹町国保病院 ☎01558-6-3111

★ 指定医療機関以外で接種する場合

接種後、次のものを役場保健福祉課窓口にご持参の上、申請してください。後日、接種費用を指定口座にお振込みします。

持ち物

・接種した際の領収書・印鑑・銀行口座の分かるもの(通帳等)・高校生は学生証のコピー

※申請期限：令和9年3月31日まで

★ 長期入院・施設入所等をされているえりも町に住所を有する方が接種を希望する場合

入院中の医療機関や入所施設との契約を終えてからの接種となりますので、お早めに役場保健福祉課健康推進係までご連絡ください。

お問い合わせ 役場保健福祉課 健康推進係 ☎01466-2-4630

本

図書室だより

- 開室日時
月・金・土・日曜日
9時～17時
水・木曜日
10時～18時
- 閉室日
火曜日
祝日・年末年始



図書室マスコットキャラクター
BOOK（ブック）くん

おすすめの

新刊 情報



スナックふたり

著 川上 弘美 出版社 中央公論新社

司と逸子がふたりで営むスナックに、今宵もさまざまな客が訪れる。ときには、この世ならざるものも…。ちょっと不思議でしみじみ沁みる、大人のための物語。

ウマはかけた

作 大桃 洋祐 出版社 小学館

むしように走りたくなること、あるよね？ふと思い立ったウマは、いつまでもどこまでも駆けていく。そしてたどり着いた場所は…？



福祉センター図書室

☎ 01466-2-2526 E-Mail: erimolib@seagreen.ocn.ne.jp

一般書

どっちもある名言集 ペズル
タヌキまるごとBOOK 南幅俊輔／編著
体を強くする豆腐料理 minokamo
ファイア・ドーム 上・下 辻村 深月
5秒後に意外な結末
ペルセボネの百花繚乱の地獄 桃戸ハル／編著

児童書

ポケモンサイエンスブック ほのお 店橋護／監修
ジブリの食卓 崖の上のポニョ スタジオジブリ／監修
カモノハシくんの事件ファイル
へんな親子のナゾ編 胡 妙芬
いいたいことがあります！ 工藤 純子
たいやきデカ 1 春間 美幸

秋のさわやか社教ラリーが始まります！

本を借りたり、行事に参加してスタンプを集めよう！
詳しくは、広報紙に折り込みの「ほろいずみニュース」を見てね！



えりも

しりょうかん
MUSEUM

国有林で「もみじがり」を楽しもう

百人浜の国有林ではクロマツの合間にオオモミジなどの広葉樹が植樹されており、育樹祭の時期になると、クロマツの濃い緑の中で鮮やかな紅葉が目立ちはじめます。

葉が緑色に見えるのは葉の中に「クロロフィル」という緑色の色素が含まれるからです。気温が下がりはじめるとクロロフィルは少しずつ分解され、葉の中にもともと存在していた「カロテノイド」という黄色の色素が目立つようにな

ります。一方、赤色の色素である「アントシアニン」は葉の中に蓄積した糖などから作られます。特に日中に良く晴れて日が当たり、朝晩は冷え込む気温差の大きい日が続くと、鮮やかな赤色に変化します。

紅葉の色の変化は天候に左右されやすく、年ごとに差があります。国有林周辺ではオオモミジのほかにも、カシワやシラカバ、ナナカマドなどの色とりどりの紅葉を楽しむことが出来るので、ぜひ「今年だけの色」を探してみてください。



緑のクロマツとオレンジ色のオオモミジ
(令和7年11月4日撮影)



シラカバ・クロマツの間で色付く黄色のオオモミジ (令和7年11月4日撮影)

紅葉の色をカラーでお楽しみください！

カラー版は町ホームページでご覧いただけます



防災 情報版 No. 190

—2026年熊本地震—

7月28日、熊本県で再び大地震(M7.1)が発生し、宇城市と氷川町で震度7を観測しました。地震から少

したった後、イオンモールで爆発が発生し、死者と負傷者を出す惨事となりました。さて、熊本では2016年にも同じような場所で大地震が発生し、熊本城が崩れる大惨事となりました。2016年4月16日の熊本地震(M7.3)の際には、2日前にも大きな前震(M6.5)が発生しました。この前震は日奈久断層帯の北端で発生し、16日の本震はその北側に接するように位置した布田川断層帯で発生しました。つまり、前震は日奈久断層帯の一部北端の断層のみで発生していたため、その南側の断層は頑張ってくっ付いていると考えられて来ました。2026年7月の地震ではその頑張っていた断層が10年経って耐え切れずに滑ったと考えられています。

上記のように、2016年の熊本地震後に、日奈久断層帯が滑らずにまだ頑張っていることが分かっていたなら、あらかじめそこで大地震が起こることを教えてほしいと誰もが考えます。ただそう単純ではありません。2016年の前震が発生した際に日奈久断層帯が全て滑らずに北側だけで止まってしまったことも事実です。南側の断層に応力集中が起こっても断層の破壊が止まるほど、南側の断層はしっかり固着し頑張ることができたのも事実です。そうなれば、2016年の熊本地震の直後で、日奈久断層帯の南側がどれだけ危険な状態だと言えるでしょうか。それだけ頑張れるなら当分は大丈夫かもしれません。これが地震の予測が難しい理由のひとつです。南側の断層が頑張れるのが10年(2016年から2026年まで)だとは2026年の熊本地震が発生するまで分かりませんでした。つまり、活断層が存在する限り、やはりその地震に備えて事前準備をしっかり行い、被害を最小限に抑えることが最も重要でしょう。



谷岡 勇市郎

北海道大学名誉教授、Ph.D。
米国ミシガン大学博士課程修了後、気象庁気象研究所研究官、北海道大学教授を経て2023年6月より現職。
専門は地震学（巨大地震・津波）。

ここで一句

雲の峰わが晩年のバースデイ
音のみを一人楽しむ大花火
同胞のはじける笑顔昆布干す
通し鴨葦の中州に休みをり
月一の背徳メニュー揚花火
白雨去り垣のほころび直しけり
君影草別れる時も笑う癖
主なき雑草の墓盆近し

えりも吟社

鈴木 周子
長岡 青風
佐々木 凌子
蛸名 渚
柴田 岳人
木下 白水
稲田 覚
岩間 茂子



ひだか弁護士相談センター 無料法律相談

▷会場

保健センター

▷相談日

10月20日(火)・11月17日(火)

▷相談時間

13時30分～16時

※事前予約制(予約受付：平日10時～16時)

お問い合わせ・予約先

ひだか弁護士相談センター ☎ 0146-42-8373



運転免許証更新時講習 日程表は町ホームページにも掲載

▷会場

福祉センター

▷講習日

10月1日(木) 優良講習13時～13時30分
一般講習14時～15時

11月19日(木) 優良講習13時～13時30分
違反講習14時～16時
初回講習14時～16時

☎町民生活課環境生活係 ☎ 01466-2-4621



空き家情報登録制度

☎町民生活課環境生活係

☎ 01466-2-4621

当町の「空き家情報登録制度」は、所有者より登録いただいた内容をホームページや広報紙において情報を提供し、当事者同士で交渉していただくためのツールとして活用いただいております。

使用する予定のない物件を所有の方は、お気軽にご連絡・お問い合わせください。

▷空き家情報の登録は

役場町民生活課環境生活係へ

▷取得を希望される方は

連絡先所有者等へ直接連絡し、交渉・契約をお願いします。

▷物件情報

物 件 内 容	木造住宅(土地付き)
所 在 地	えりも町字新浜
連 絡 先	山崎さん ☎ 090-8906-2620
そ の 他	売却希望

*空き家情報は、現在7件登録中
町ホームページでご確認ください。



公営・町営住宅の入居者を募集

☎建設水道課建築管財係 ☎ 01466-2-2114

町では公営住宅等の入居者を募集しています。随時募集の入居は先着順です。

入居者資格（次の要件をいずれも満たす方）

	公営	町営
現に住宅に困っていること	○	○
町税等を滞納していないこと	○	○
暴力団員でないこと	○	○
同居の親族のあること (単身入居は条件有り)	○	—
収入が基準以下であること	○	—

※随時入居のため、掲載からお申し込みまでの間に、入居済みとなる場合があります。

No.	団地名	戸数	間取	家賃月額（円）
1	笛舞団地	1	3LDK	24,600～48,300
2	大和町営	1	3LDK	7,300～19,500
3	大和A	1	1LDK	16,200～31,900
4	大和B	2	3DK	10,400～20,500
5	夕陽ヶ丘	1	2LDK	19,300～37,900
6	夕陽ヶ丘	1	3LDK	22,900～45,000
7	ふれあいの丘	5	3LDK	23,600～47,400
8	歌別町営	1	3LDK	13,200～34,200
9	えりも岬A	2	2LDK	20,500～40,600
10	目黒町営	1	2LDK	11,900(定額)

▷別途管理費が500円（No.2、No.4、No.8、No.9、No.10は1,000円）がかかります。



町立国保診療所と道立庶野診療所の診療予定表（10・11月）

☎町立国保診療所 ☎ 01466-2-2265 道立庶野診療所 ☎ 01466-4-2219

10・11月(月上旬まで)の診療体制は右表のとおりです。また、町立国保診療所の診療は、町ホームページからも確認できます。なお、都合により診療予定が変更となる場合もありますので、ご了承ください。

▷受付時間

◇町立国保診療所
8時30分～11時30分
13時～16時
☎01466-2-2265

◇道立庶野診療所
(要電話確認)
9時～11時30分
13時～16時30分
☎01466-4-2219

▷診察表の見方

○…診 察
訪…訪問診療
施…施設回診
検…検査・処置
健…学校健診等
目…目黒診療
研…研究・研修
予…予防接種
休…休 診

	町立国保診療所						道立庶野 診 療 所	
	内 科				外科			
	小山所長		代診医師		代診医師			
	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
10/ 1 (木)	○	訪	③	③			休	休
2 (金)	○	健	③	③			休	休
5 (月)	○	○	③	③			休	㊟
6 (火)	○	施	③	③			○	休
7 (水)	○	○	③	③			休	休
8 (木)	○	○	③	③			休	休
9 (金)	○	健	休	休	②	②	休	休
12 (月)	祝日（スポーツの日）							
13 (火)	○	○	休	休			休	休
14 (水)	○	施	④	④		①	休	休
15 (木)	○	目	④	④			休	休
16 (金)	○	○	休	休			休	休
19 (月)	○	○	③	③			○	○
20 (火)	○	建	③	③			○	○
21 (水)	○	○	③	③			○	休
22 (木)	○	建	④	④			休	休
23 (金)	○	○	④	④			休	休
26 (月)	○	○	休	③			休	休
27 (火)	○	施	③	③			休	休
28 (水)	○	○	③	③			休	休
29 (木)	○	訪	③	③			休	休
30 (金)	○	施	③	③			休	休
11/ 2 (月)	○	○	③	③				
3 (火)	祝日（文化の日）							
4 (水)	○	○	③	③				
5 (木)	○	○	③	③				
6 (金)	○	○	③	③				
9 (月)	○	○	③	③				
10 (火)	○	施	③	③				
11 (水)	○	施	④	④		①		
12 (木)	○	目	④	④				
13 (金)	○	○	休	休	②	②		

庶野診療所へお問い合わせ
ください。

庶野診療所へお問い合わせください。

【国保診療所からのお知らせ】

発熱、せきといったかぜ症状の方で受診を希望される場合は、受診時間を調整しますので、必ず電話連絡をお願いします。

- ①大庭医師(外科)の診察※14時から
- ②萩原医師(外科)の診察※9時から
- ③柴野医師(内科)の診療
- ④東札幌病院医師(内科)の診察
※10/15、10/23、11/12は15時まで

【道立庶野診療所からのお知らせ】

㊟9/7の診察は15時30分から16時30分まで

暮らしの 掲示板

8月末の人口と世帯数

人口 3,867人 (+16)
男：1,942人 (+12)
女：1,925人 (+4)
世帯数 1,942世帯 (+12)
※外国人含む、()内は前月比
8月末の人口動態
出生2人 死亡1人 転入18人 転出3人



税の納期

- ◆個人町道民税 (第3期)
 - ◆国民健康保険税 (第4期)
 - ◆固定資産税 (第3期)
- 納期限 令和8年11月2日(月)

お知らせ

障がい者相談支援事業所「ういず」をご利用ください

相談支援事業所「ういず」では、障がいのある方の困りごとや相談に応えるため、来所や電話、訪問による相談のほか、月1回、巡回相談を無料で行っています。お気軽にご相談ください。

▷日時 10月19日(月) 10時～12時

▷場所 保健センター

問 障がい者相談支援事業所「ういず」

☎ / FAX 0146-22-6246

定例行政相談所の開設

総務省の行政相談は、国などの行政への苦情や意見・要望を受け付け、相談者と行政機関の間に立ち、公正・中立の立場から、問題解決を目指す制度です。実際の相談は、総務大臣から委嘱を受けた行政相談委員が対応します。毎月、定例で行政相談所を開設しています。困りごとや苦情・ご意見・ご要望がありましたら、お気軽にご相談ください。

【担当行政相談委員】 上島 正人

▷日時 10月28日(水) 9時30分～12時

▷場所 保健センター

問 総務課庶務係 ☎ 01466-2-2111

働きたい方のための出張相談会

とまこまい若者サポートステーションは、働きたいと思われている方に向けた就労自立支援施設です。次のとおり「働きたい」を応援する無料出張相談会を開催します。

▷日時 10月27日(火) 10時～11時30分
(先着順・予約可)

▷場所 ハローワーク浦河

▷内容 就労相談・就労体験ほか

▷対象 15歳から49歳の方・ご家族
問 とまこまい若者サポートステーション
☎ 0144-84-8670

工事等入札結果(8・9月執行分)※価格は税抜

ふれあいの丘団地24号棟屋根改修工事

有限会社 渋田建設 5,200,000円

ふれあいの丘団地転落防止柵改修工事(18～21号棟)

株式会社 ヤマト建設 9,600,000円

高区配水池仕切弁更新工事

坂田組土建 株式会社 3,300,000円

えりも中学校長寿命化改修基本設計委託業務

株式会社 日本技建 13,900,000円

笛舞団地公営住宅(No. 1～4)解体工事

有限会社 川崎建設 9,300,000円

旧笛舞校長住宅解体工事

有限会社 渋田建設 3,850,000円

清掃センター外壁改修工事

株式会社 山一工務店 1,960,000円

低区配水池連絡管更新工事

有限会社 岡崎建設 1,800,000円

問 建設水道課建設管理係 ☎01466-2-2114

【みんなチェック！最低賃金】北海道最低賃金

北海道内の事業場で働くすべての労働者(会社員、パート、アルバイトなど働くすべての人)およびその使用者に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました

時間額 **1,131円**

(効力発生日)令和8年10月1日

問 北海道労働局労働基準部 ☎ 011-709-2311



平和を、仕事にする。

陸海空自衛官募集

札幌地本キャラクター モコ

自衛隊札幌地方協力本部
静内分駐所
☎ 0146-44-2855



戸建て木造住宅を無料で耐震診断します

北海道では、戸建て木造住宅を対象とした無料耐震診断窓口を設けていますので、ご自宅の耐震診断に活用してください。

▷対象住宅

・2階建以下で延床面積500㎡以下の戸建木造住宅・当該住宅の所有者または居住者が申込者であること・建築年次は問いません

▷診断方法

対象住宅の図面(寸法のわかる平面図、仕上げ表など)により実施します。現地調査は行いません。

▷申込方法

申込書を北海道庁のホームページからダウンロードし、必要事項を記入の上、日高振興局産業振興部建設指導課またはえりも町役場建設水道課まで郵送またはFAXにて送付してください。

申込書ダウンロードはこちら

北海道 無料耐震診断



問 日高振興局産業振興部建設指導課

☎ 0146-22-9293 FAX 0146-22-7518

暮らしなんでも相談室

仕事・借金・法律・介護・福祉・暮らし・年金・子育て

フリーダイヤル

相談無料

なやみゼロ

0120-783-000

※毎週月・水・金曜日(祝日除く)

10時から16時まで受付



北海道ライフサポートセンター

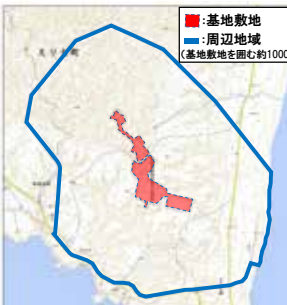
日胆サテライト TEL:0143-46-7830

小型無人機飛行禁止法改正により、航空自衛隊機装分屯基地敷地から約1,000mの範囲は、ドローン等の飛行が原則禁止です。

無断でドローン等を飛行させた場合、1年以下の拘禁または50万円以下の罰金に処せられます。飛行が必要な場合は、事前に手続をお願ひします。詳しくは、下記までお問い合わせください。

〒058-0342
北海道札幌市東区えりも町字えりも岬407
航空自衛隊第36警戒隊
総括班
電話:01466-3-1136
E-mail:eripub0104@inet.aci.mod.go.jp

防衛省解説Webページ



ハロウィンジャンボ 4億円

ハロウィンジャンボミニ 4,000万円

9月16日(水)発売

10月の行事予定

- 4日(日) 第45回えりも海と山の幸フェスティバル
(スポーツ公園 / 10時～14時)
- 8日(木) 町民生涯学習講座(福祉センター)
- 10日(土) 郷土資料館講演会(えりも岬林業総合センター)
- 12日(月) 第48回町民マラソン大会
(百人浜 / 9時30分～12時)
- 14日(水) 小中学校芸術文化観賞会(福祉センター)
- 17日(土) 猿留山道を歩く会・秋色
(集合・解散: 郷土資料館 / 7時30分～15時)
- 17日(土)～23日(金) えりも町文化祭「作品展示会」
(福祉センター / 9時～19時)
- 24日(土) ひなたハロウィン
(交流館ひなた / 9時～12時)
- 24日(土)・31日(土)・11月14日(土) 体験陶芸教室(全3回)
(郷土資料館 / 13時30分～15時30分)
- 25日(日) えりも町文化祭「芸能発表会」
(福祉センター / 13時～16時)
- 31日(土) 中央保育所発表会

11月の行事予定

- 9日(月) 子ども議会
- 11日(水) えりもイキイキ森林づくり事業育樹祭
- 29日(日) 年縄をろうろ
- ※各種行事は変更・中止となる場合があります。

ご厚志に感謝

- 太田 英子さん(新浜) あけぼの自治会へ 30,000円
- 市橋 黎子さん(庶野) 庶野中央自治会へ 30,000円
庶野老人クラブひまわり会へ 20,000円
- 高杉 慎吾さん(笛舞) 笛舞自治会へ 30,000円
社会福祉協議会へ 30,000円
- 佐藤 雄子さん(札幌市) 住吉自治会へ 50,000円

笑顔を掲載

広報えりもでは、広報発行月に1歳のお誕生日を迎えるお子さまの写真を掲載しています。

誕生月の前月頃、企画課広報係から保護者様に掲載の依頼をしますので、ご協力をお願いします。



やまぐち つき
山口 紬希さん
新浜・R7.10.31 生
聖人さん / 紬香さん

お誕生日おめでとう！
兄妹仲良く元気に育ってね。

えりもの子
すくのび

1歳のお誕生日おめでとう！

10月生まれ



8月31日
幼年消防クラブ放水体験後
の記念撮影



期間中、毎日お昼12時5分に全地区一斉に防災無線のサイレンを吹鳴します

10月15日から31日まで「火の確認 いい日を支える いい習慣」をスローガンに、秋の全道火災予防運動が実施されます。
この運動は、暖房機器の使用等による火災が発生しやすいくなる時季を迎えるにあたり、町民の皆様へ火災予防の啓発を図り、火災の発生を未然に防止して、悲惨な焼死事故や貴重な財産損失を防ぐことを目的としています。
火の取扱いには十分注意しましょう。



火事・救急・救助は119番

☎ 消防えりも支署
☎ 01466-2-2038

えりも町防災行政無線電話応答サービス

☎ 01466-2-3831

防災無線で放送された内容が聞き取れなかった場合など、電話で放送内容を確認することができます。

えりも町防災情報メール

防災情報や通行止め情報などのメール配信サービスを行っています。
登録はこちらから→



住所／北海道幌泉郡えりも町字本町 206 番地

電話／01466-2-4612 FAX／01466-2-4633 Eメール／erimo@sage.ocn.ne.jp